

内航船舶輸送統計速報 (令和 4 年 10 月分)

1. 概況

総輸送量は、28,475 千トン（前年同月比 3.1%増）、14,310 百万トンキロ（前年同月比 2.0%増）であり、大型鋼船は 18,744 千トン（前年同月比 5.8%増）、10,558 百万トンキロ（前年同月比 3.6%増）、小型鋼船は 8,337 千トン（前年同月比 2.7%減）、3,482 百万トンキロ（前年同月比 3.0%減）であった。

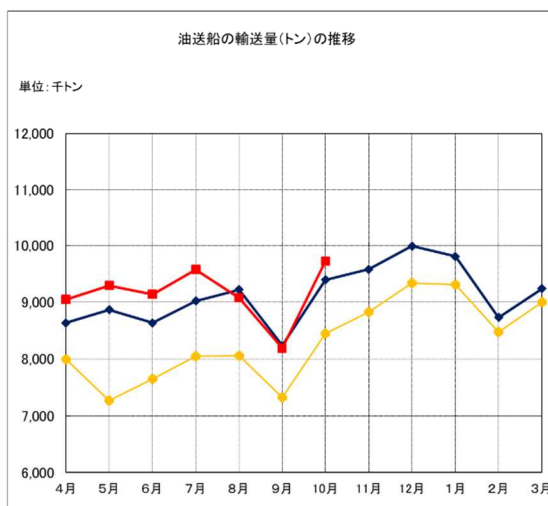
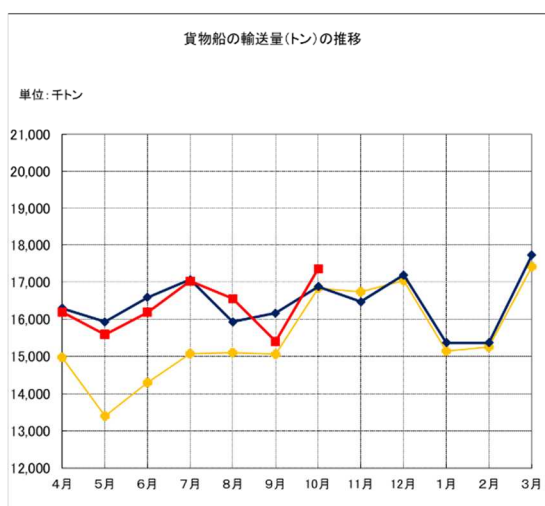
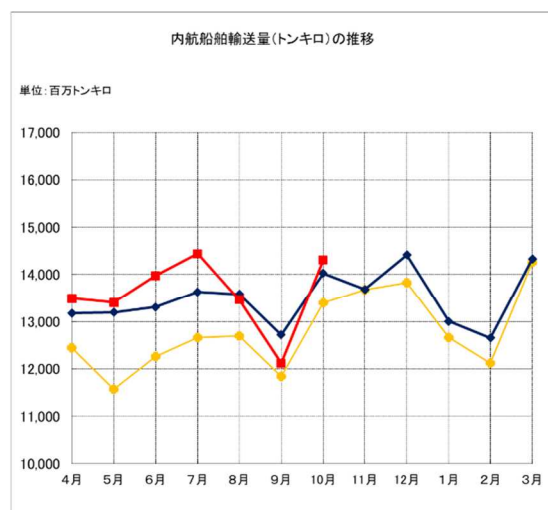
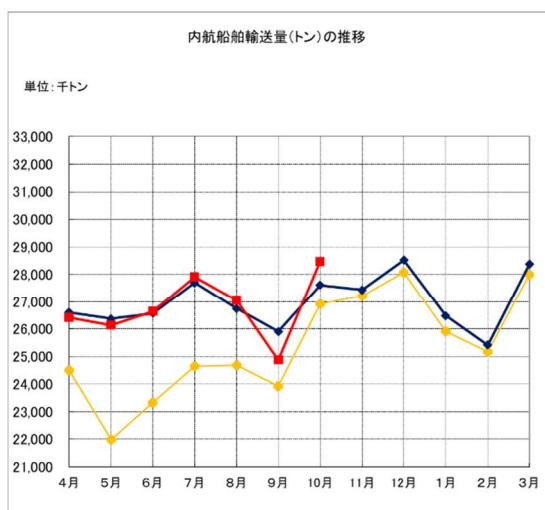
貨物船は 17,357 千トン（前年同月比 2.8%増）、8,980 百万トンキロ（前年同月比 2.9%増）であった。

油送船は 9,724 千トン（前年同月比 3.5%増）、5,060 百万トンキロ（前年同月比 0.0%増）であった。

プッシャーバージ・台船は 1,394 千トン（前年同月比 4.1%増）、270 百万トンキロ（前年同月比 10.5%増）であった。

2. 用途別輸送実績

項 目	トン数 (千トン)	前年同月比 (%)	トンキロ (千トンキロ)	前年同月比 (%)
合 計	28,475	103.1	14,309,885	102.0
大型鋼船	18,744	105.8	10,557,606	103.6
小型鋼船	8,337	97.3	3,482,086	97.0
プッシャーバージ・台船	1,394	104.1	270,194	110.5
貨 物 船	17,357	102.8	8,979,949	102.9
油 送 船	9,724	103.5	5,059,742	100.0
プッシャーバージ・台船	1,394	104.1	270,194	110.5



凡例：● 令和2年度（2020年度） ◆ 令和3年度（2021年度） ■ 令和4年度（2022年度）

本速報値の総輸送量は、「内航船舶輸送統計調査（基幹統計調査）」の調査対象事業者のうち、一定の期日までに提出のあった事業者の実績を用いて、過去半年分の当該事業者分と全体の輸送量の比率を以て推計した値である。また、全体の輸送量の内訳である用途別については、過去半年分の内訳の比率を用いて按分したものである。

そのため、「内航船舶輸送統計月報」における推計方法とは異なるので留意されたい。なお、確報値は、「内航船舶輸送統計月報」として追って公表する。

お問い合わせ先

国土交通省総合政策局情報政策課交通経済統計調査室

TEL：03-5253-8111 FAX:03-5253-1567

担当：横堀、渡辺（内線 28-743）